

プロフィール



名前	佐藤 裕公 Yuhkoh Satouh
所属部署	群馬大学 生体調節研究所 細胞構造研究室 (佐藤健研)
職種	准教授
この研究室に入った日	2018.10.1.
出身地	秋田
趣味	釣り・ゴルフ・家族と遊ぶこと

インタビュー

Q1 研究内容を教えてください。

ここまでは、遺伝子改変マウスを使って哺乳類の卵子や精子を使って受精と生殖全般の研究を続けてきました。特に、卵子と精子の相互作用や、受精直後の胚の変化について研究しています。

カメラ好きだったのもあって、研究の中心はイメージングです。

10月から来た細胞構造分野はメンブレントラフィックやオートファジーのラボで、線虫も材料に使っているなので、今後はぜひこれらのトピックを絡めた研究に挑戦したいです。

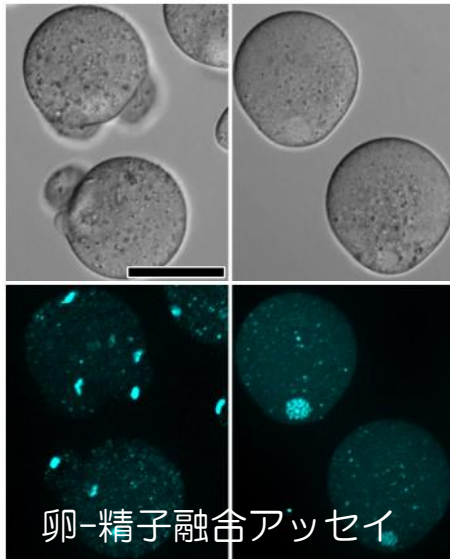
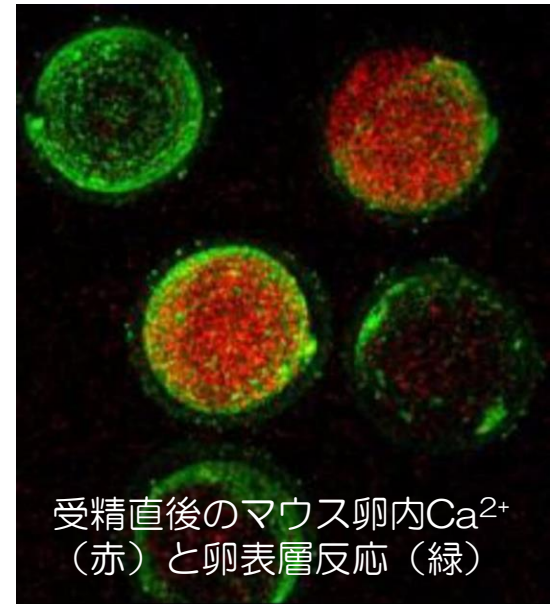
Q2 最近の発見は？

個人的に、この数年は卵子への興味がやみません。

Ca²⁺ダイナミクスをイメージングしても出生率に影響しない低侵襲性イメージング系を開発し、精子内の卵子活性化因子の同定とかをしていました。

詳しくはこちらへ↓

<https://sites.google.com/view/yuhkohsatouh/home>



Q3 研究の進め方で気をつけていることは？

よい研究はよいパッションから、と思っています。

だから、自分、一緒に研究をしてくれる方、そして発表を聞く方の知的欲求を大事にして、みんなが楽しみながら社会に役に立つ研究がしたいです。

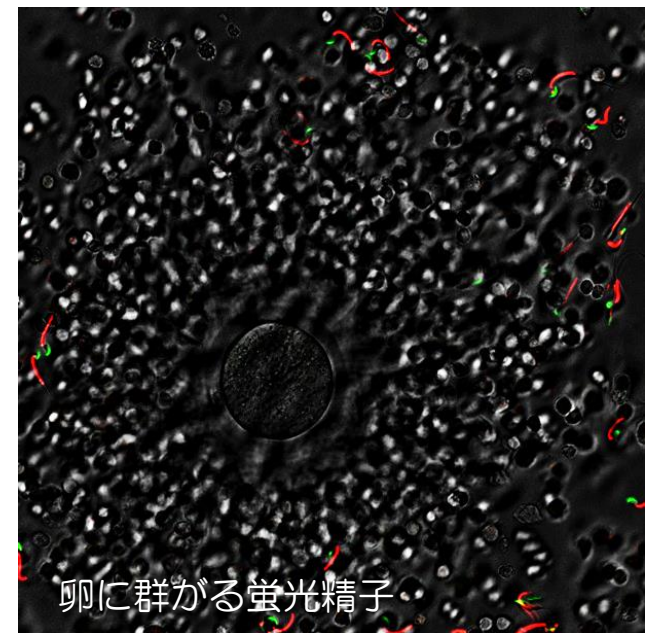
反対に、自己満足な研究に陥らないよう、ディスカッションも大事にしたいです。

Q4 群馬県をどう思いますか？

まだこの研究室マップに群馬のラボがないですね。

ネットでは“グンマー”とも呼ばれていますが(笑)…
こちらにきて2ヶ月と少し、群馬、かなりいいです。

人柄もいい人ばかりで、町も暮らしやすいです。あと、
意外なことに魚介類もおいしいだけでなく、外食のレ
ベルが全般的に高いです。太る(太った)。



卵に群がる蛍光精子



細胞構造分野

Q5 研究室はどうですか？

教員との距離が近くて話しやすい雰囲気最大の
の特長ですね。佐藤健先生・美由紀先生ご夫妻
は、受精とオートファジー、メントラの第一人
者でいろいろ教えてもらえます。

線虫・マウス・培養細胞・酵母などなど幅広く
使えますし、やる気のある人には最高かと。

ラボの詳細はこちらもどうぞ↓

<http://traffic.dept.med.gunma-u.ac.jp/>